



当日のハナダイ仕掛け

Tackle Guide

全長2メートル、7：3調子のライトゲーム竿に小型電動の組み合わせが扱いやすくておすすめ。仕掛けは船で購入できる全長2.5メートルの魚皮バケ3本バリ仕掛けのほか、カラーバリ仕掛けやウイリー仕掛けもおすすめ。カラーバリや先バリが空バリタイプのウイリー仕掛けには付けエサにイカタンやオキアミを付けてもよい。

い様子で、水深30メートルの魚礁周りのポイントへと船を移動させた。「仕掛けが着底したら早めに底を切らないと根掛かりしますからね。このポイントでは良型のアジが多いですよ」とのこと。

で来た肥後ファミリーの大人たちが船酔いでダウンしており、私は小学4年生の武蔵君のサポートをかって出た。武蔵君がコマセをまいて底から5メートル上でアタリを待っているときギューンと竿が曲がり、「きたきた！ すっげえ引く！」と興奮気味にリールを巻いていく。上がってきたのはこちららも40センチ級のアジ。釣った感想を聞いてみると、「ちゃんと上がるか心配だったけど、大きいアジが釣れてうれしかったです」と笑顔が弾けた。船酔いから復活したお父さんもこのタイミングで釣りを再開。すぐにアタリが出て30センチ級のハナダイと20センチ級のカワハギを一荷で釣り上げた。



▲アタリが多くゲストも豊富なコマセハナダイはだれでも気軽に楽しめる

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

今年のスギ花粉は例年の10倍以上とか。花粉症の方にはうとうしい時期ですが、潮めるむ春は好調ターゲットがめじろ押し。万全の花粉対策で船釣りを楽しみましょう!

▼コツさえつかめば子供でも入れ食い



合間に竿を出した私もハナダイ11枚とウマヅラ1枚をゲット。残念ながら船酔いなどであまり釣果をのばせなかった方もいたが、竿

午前11時を過ぎたころに私も竿を出す。船長から教わった魚皮バケ仕掛けでの釣りは、着底したら2メートルほど巻いてコマセを振り出して10秒待ち、続いて50センチ刻みでシャクリ上げては10秒待つ、を繰り返して指示タナの上限まで探るといふもの。実際に私もやってみると、底から7メートルほど誘い上げてきたときにゴツゴツゴツツというアタリが訪れる。電動でゆっくり巻き上げてくると30センチほどのハナダイが付いていた。なるほど、難しいことは何もない。同じように探ると、下から3メートルほどでアタリ。追い食いを狙って超ゆっくり巻くとさらにゴツゴツとアタリが大きく

アタリは最後まで続く

くとさらにゴツゴツとアタリが大きくなった。巻き上げてくると30センチ級のハナダイが一荷で上がる。右舷の大崎さんの竿が大きく曲がっていたので駆けつけるのと、なんと45センチ級のシヨゴ(カンパチの若魚)が上がってきた。その後魚の活性は高く、船中あちこちで竿が曲がり次つぎと30センチ級のハナダイが取り込まれ、大人も子供も大喜び。最後の流しまで食いつばなして、12時半に沖揚がりとなった。釣果は25〜35センチ級のハナダイをトップが規定数の50枚に到達し平均は一人20枚ほど。ほかにウマヅラ、カワハギ、アジ、シヨゴが交じった。



▲ハナダイ狙いで交じるアジは良型が多い

今回はアミコマセを使ったシャクリ釣り。こちらは初体験なのでという釣りなのか楽しみだ。午前4時ごろに船着き場に到着するとすでに大勢のお客さんが準備に取りかかっており、子供連れのファミリーもいてにぎやかだ。潮田公成船長にごあいさつし、私は左舷ミヨシに入っていた。ここ最近ハナダイもよく釣れますし、初心者のお客

開始早々竿を曲げたのは右舷ミヨシ4番の大崎さん。小気味よい引きを見せながら上がってきたのは25センチほどのハナダイだ。同宿の常連という大崎さんはハナダイ狙いでよく乗船するそうで、その後もハイペースで釣り上げる。「どうぞ。やってみてください。底から15メートルまでいい反応が出てますよ」とのアナウンスで釣り開始。まずは船内の様子を見て回ることにした。

開始から好スタート

午前5時半、右舷10名、左舷9名の計19名を乗せて出船。30分ほど走って飯岡沖の水深30メートル前後のポイントに到着。

アタリが多くゲストも多彩 釣って楽しいハナダイ満開

●九十九里飯岡港発↓飯岡沖

本誌編集部/黒澤尚人 Naoto Kurosawa

知得! Tips and Tricks

ハナダイの酒蒸し

▼白髪ネギのトッピングがあるとよりおいしい

ハナダイは加熱調理すると旨味が増す。おすすめはフライパンで作る酒蒸し。フライパンに白菜と長ネギを敷き詰めて日本酒を250cc、水200ccを入れフタをして7分加熱。野菜がしんなりしたらハナダイを置いてさらにフタをして7分蒸せばハナダイの酒蒸しのでき上がり。ビールの肴に最高です!

これでスイッチが入ったのか左舷、右舷ともに続々とハナダイが釣れ上がる。しかし船長はサイズに納得がいかな

●船宿information

九十九里飯岡港

第3潮丸

☎0479-63-1508 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ハナダイ五目乗合一人8000円 潮田 公成船長 (コマセ2キロ付き、付けエサ、氷別) オキアミ1バック500円、氷100円

▶備考=予約乗合、集合時間確認。ほか一つテンヤマダイ、ヒラメ、ルアー青物へ出船